

Q6 自転車用ヘルメットの着用が進むにはどのような条件が必要か  
「3. 自転車用ヘルメット着用の重要性をアナウンスする」の場所や媒体(記述)

- テレビ 4件
- 自転車販売店 2件
- 学校
- 学校・職場での回覧
- 特に、通学路周辺での呼びかけ
- YouTubeCM、路面電車ラッピング、小学校、中学校、高等学校、大学
- Instagram・ラジオ
- SNS広告
- 公共施設の自転車置き場 等
- 広報やホームページ
- 高知市のインスタグラムやホームページ
- 実際に起こった自転車事故を取り入れた人気アイドルのドラマを作る。ACのCMで流す

Q6 自転車用ヘルメットの着用が進むにはどのような条件が必要か  
「5. 購入補助金がある」の具体的なパーセンテージ(記述)

- 10%
- 10%～20%
- 15%
- 20% 4件
- 30% 3件
- 30%～50%
- 40%
- 50% 29件
- 50%以上
- 50%～60%
- 50～75%
- 70% 3件
- 80% 3件
- 90%
- 100% 3件
- 2000円
- 3,000円
- 10,000円 2件
- 県内の平均価格中央値
- 半額補助(通勤時使用の場合には、会社負担を勧める流れになればいいと思う)
- 年齢的に使用する頻度がどんどん減っていくので自費購入になると自転車に乗るのを諦めざるを得ない90%程度の補助は欲しい
- 初回全額免除
- 標準のヘルメット価格を基準値にして、小学・中学・高校生の全児童、生徒に対して一定額を補助することが望ましい。
- 中学生まで半額(高校生からは大人サイズになり転売などの恐れがあるため。そのリスクがないならば大学生まで。学生はお金がなく、ヘルメットは高価で買わない選択をしがち。)
- 自転車事故の講習を受けたらヘルメット購入ポイントを投与する2,000ポイント

Q6 自転車用ヘルメットの着用が進むにはどのような条件が必要か 「その他」の回答(記述)

- 高校生には県が補助し、成人に対しては「シートベルト」の着用のように、徐々に規制を厳しくする方法で
- ヘルメットを無料で配ってほしい
- かさばらないヘルメットがあれば便利だと思います
- 自転車販売店でのアナウンスの強化
- 髪をセットしても崩れないもの
- 子供たちから発信するのが効果的だと思う
- ヘルメットの収納方法の工夫について教えてほしい
- 学生は学校の規則で着用義務にしてほしい
- おしゃれ
- 無理かも